

「3きり運動」で
生ごみダイエット！

廿日市市の家庭から出る燃やせるごみの約4割が生ごみです。

生ごみの約7割は料理を作るときに出てしまう「調理くず」ですが、残りは封も切らずに捨てられてしまう「手付かず食品」や、多く作りすぎたりして食べ切れなかった「食べ残し」です。「使いきり・食べきり」で、これらのもったいないごみを少しでも減らしていきましょう。

「手付かず食品」は、どういった食品が冷蔵庫、貯蔵庫に入っているか分からないために出てしまいます。買い物をする前に食材の在庫状況をチェックすることを心掛けてみましょう。

まずは、冷蔵庫や貯蔵庫を整理し、買い

物前に必要なものを確認して買い物メモをつけましょう。食材は使い切れるか、食べ切ることができる量か確認しながら、無駄なものは買わない、衝動買いをしないことで生ごみをぐんと減らすことができます。

また、ごみを捨てるときにもポイントがあります。生ごみの約80~90%は水分です。水分を減らすと、臭いも重さも減らすことができます。

野菜くずなどはできるだけぬらさないように、むいた皮や芯はそのままごみ袋などへ捨てましょう。水分を含んだ生ごみはひと絞り！特にお茶殻、コーヒーかすはぎゅっと絞ってから捨ててください。生ごみの腐敗や悪臭の主な原因は、ごみに含まれる水分です。生ごみから出た水分がごみ置き場を汚してしまうこともあります。

これだけのことで本当にごみが減るの？と思いがちですが、市内には約5万の世帯があります。一人一人が「買い過ぎない」「作り過ぎない」「食べ残さない」ことや、生ごみの水切りを徹底することで、市内全体のごみの量は大きく減ることになります。

さらにチャレンジ！
●電動生ごみ処理機のモニター募集

電動生ごみ処理機を使うことで、生ごみの量を減らすことができます。市では、使用状況の調査に協力できる人に、電動生ごみ処理機の購入費を一部補助しています。

これまでにを行った調査では、約3分の1の人が処理した生ごみを家庭菜園などの肥料に使うことで、生ごみを出さなくなったと回答。約半分の人が、ごみを出す量が減ったと回答しています。

— ごみインフォメーションNo.20 —



環境産業部廃棄物対策課
濱崎 泰 課長

ごみ減量化・資源化に関する
出前講座を開催します

とき・ところ
7月21日(木)13時30分～・宮園市民センター
7月27日(水)14時～・宮島市民センター
問い合わせ 廃棄物対策課 ☎09133



エコセンターはつかいちで行われている「小型及び複雑ごみ」の選定作業の様子。素早く判別していきます。

知っていますか、ごみ分別あれこれ集められたごみは、各地域のごみ処理場に運ばれます。家庭や事業所で「燃やせるごみ」や「小型及び複雑ごみ」、「資源ごみ」などに分別をしています。さらに処理場で選別作業が行われます。例えば「小型及び複雑ごみ」はすべて袋を破り、中身を種類別に細かく選別していきます。そのうちの燃やせるごみはRDFという固形燃料にしています。ごみを砕く機械が壊れて作業が止まってしまわないよう、かばんや時計などの金具を外す作業も職員の皆さんが行っています。代表的な「資源ごみ」であるペットボトル。キャップを取らずに出されたものも、職員の皆さんが一つずつ手で取っています。時間、労力、お金がかかるごみ処理。少しでもという気持ちを抑え、きちんと分別して出しましょう。

14億 2,237万9,252円

上の数字は、平成26年度にごみ処理にかかった金額です（収集運搬費、施設整備費を除く）。平成28年6月1日現在、廿日市市内の世帯は50,641世帯なので、1世帯当たり28,088円。同日の人口は117,043人なので、1人当たり12,153円。ごみが無くなることはありません。でも、ごみ処理経費を節減していきたい。さあ、ごみの減量に関するアイデアを生み出してみませんか。

わたしの
ごみ減量
アイデア

冷凍庫に溜まってしまおう保冷剤を 芳香剤にリサイクル

ケーキなどを買ったときについてくる保冷剤。冷凍庫に溜まってかさばっていませんか。

保冷剤の中身を小さめのカップに入れ、アロマオイルを数滴垂らして混ぜると、簡単に芳香剤になります。消臭効果もあるので部屋に置いておくと生活の臭いが消え、アロマオイルのいい香りがします。また、絵の具を少し入れると色

がついてとてもきれいになります。ビーズや小さなおもちゃを入れてアレンジすることもできます。

カップ以外にも、ペットボトルや要らなくなった瓶などに入れても作れます。ふたの代わりに花束やお菓子などの包装紙を使えば、それも再利用になります。

1カ月も経つと蒸発するので、ごみにもなりません。



遠藤さんに教えてもらいながら廃棄物対策課の職員も作ってみました。作業時間は10分程度。皆さんもぜひ作ってみてください。



平成26年度ごみ減量アイデア最優秀賞
大野東中学校2年 遠藤 明里 さん

応募しませんか、ごみ減量アイデア日頃から取り組んでいることや工夫していることなどで、簡単に、継続的に取り組むことができるごみ減量アイデアを募集します。

応募資格 市内に在住、在勤、在学の人または事業所

募集区分

- ① 児童・生徒の部 市内に在住・在学中の小学生・高校生
- ② 事業所の部 市内の事業所
- ③ 一般の部 ①②以外で市内在住の人

応募方法 応募用紙に必要事項と400字以内にとめたアイデアを記入し、必要に応じてイラストなどを添付して、市役所6階廃棄物対策課または各支所環境担当まで持参または郵送で。

〒738-8501（住所不要）
廿日市役所 廃棄物対策課

※応募用紙は廃棄物対策課、各支所環境担当、各市民センターにあります。また、市ホームページからもダウンロードできます。

応募締切 9月2日(金)（当日消印有効）

審査・表彰 9月中旬に受賞者本人または所属する学校・事業所に通知します。また、10月開催の「環境フェスタ」で表彰する予定です。

※応募は1人1点までです。応募されたアイデアは市ホームページや広報紙などに掲載し、市の取り組みとして実施することがあります。応募用紙、写真は返却しません。